



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジャックス
コード番号 8584 URL <https://www.jaccs.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 村上 亮
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 中澤 辰生 TEL 03-5448-1311
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	49,281	3.3	6,035	△4.1	6,066	△3.8	4,163	△5.7
2026年3月期第1四半期	47,706	0.3	6,294	△28.5	6,306	△28.4	4,415	△26.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 7,521百万円(188.4%) 2026年3月期第1四半期 2,608百万円(△70.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	92.98	92.87
2026年3月期第1四半期	127.03	126.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,784,409	305,355	7.9
2026年3月期	3,752,420	302,376	7.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 299,707百万円 2026年3月期 296,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		100.00	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

(注)表示は、通期は対前期、2半期は対前年同四半期増減率)									
	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	96,000	△1.1	6,000	△54.8	6,000	△54.2	5,500	△43.4	122.88
通期	192,500	0.1	11,000	△46.1	11,000	△45.7	10,000	△34.7	223.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	45,059,992株	2026年3月期	45,059,992株
2027年3月期1Q	281,926株	2026年3月期	282,714株
2027年3月期1Q	44,777,580株	2026年3月期1Q	34,763,045株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.6「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

中期3カ年経営計画「Do next!」の2年目となる当社グループは、「アジアのコンシューマーファイナンスカンパニーとしてトップブランドを確立する」という長期ビジョンの実現に向けて、経営基盤の再構築を図っております。本中期経営計画では、株式会社三菱UFJ銀行との資本業務提携契約に基づき、テーマを三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下、「MUFGグループ」という。）との連携拡充により「変革」と「再成長」に挑む3年間とし、3つの重点戦略の実行により、当社グループの持続的成長と企業価値の向上に取り組んでおります。

- ①MUFGグループとの連携とM&Aによる成長戦略の加速
- ②「量から質」への転換による抜本的な事業構造改革の推進
- ③ALMの高度化による財務健全性の確保と資本効率の向上

当第1四半期連結累計期間につきましては、物価上昇が続くなか、雇用・所得環境の改善が下支えとなり、個人消費は持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調を維持しております。一方、米国の通商政策の動向や中東情勢の緊迫化、日銀の政策金利の引き上げや長期金利の上昇など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このようななか、国内事業では、クレジット事業において住宅リフォームが堅調に推移したものの、金融環境の変化に対応するために実施した利上げの影響によりクレジット申し込みが減速し、取扱高が減少しました。ペイメント事業及びファイナンス事業においては、既存提携先との安定的な取引が継続されたことで、取扱高が増加しました。海外事業では、インドネシアにおいて事業構造改革の影響により取扱高が減少した一方、ベトナムでの四輪需要の拡大やフィリピンにおける地方エリアの攻略が奏功し、海外事業全体の取扱高が増加しました。

この結果、連結取扱高は1兆4,639億29百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

連結営業収益は、割賦利益繰延残高の戻し入れ及び信用保証残高の積み上げにより、492億81百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

連結営業費用は、データセンター移転費用をはじめとするシステム関連費用の増加や、調達金利の上昇に伴う金融費用などが増加し、432億46百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

以上の結果、連結経常利益は60億66百万円（前年同期比3.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億63百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

「国内事業」

（クレジット事業）

ショッピングクレジットは、一部業種の取扱い停止や、利上げの影響によりシェアが低下した太陽光発電が伸び悩んだものの、住宅リフォームにおける営業体制の強化や資材価格・人件費の高騰に伴う取扱単価の上昇が寄与したことから、取扱高及び営業収益が増加しました。

オートローンでは、各インポーターの販売戦略と連動した施策の継続や、大手中古車販売店及び地場の中古車販売店においても継続的に施策を展開したものの、利上げの影響によりシェアが低下し取扱高が減少しました。営業収益は、割賦利益繰延残高の戻し入れにより増加しました。

この結果、当事業の取扱高は減少しましたが、営業収益が増加しました。

（ペイメント事業）

カードショッピングは、一部加盟店との提携終了やポイント付与条件の改定による利用減少により、取扱高が減少しました。営業収益は、分割払い・リボルビング払いの手数料率引き上げを主因に増加しました。

カードキャッシングは、既存会員を中心とした資金需要の低迷や、低金利カードの新規会員の減少により、取扱高及び営業収益が減少しました。

家賃保証は、主要提携先との継続的な取引拡大に加え、新規提携先との取引の着実な積み上げにより、取扱高及び営業収益が増加しました。

集金代行は、不動産管理会社を中心とした既存提携先における取引拡大に加え、新規提携先においても取引が堅調に拡大したことから、取扱高及び営業収益が増加しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が増加しました。

(ファイナンス事業)

投資用マンション向け住宅ローン保証は、物件価格の高騰を背景とした取扱単価の上昇により、取扱高及び営業収益が増加しました。

銀行個人ローン保証は、マイカーローンに加え、リフォームローンも堅調に推移したことにより、取扱高及び営業収益が増加しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が増加しました。

(その他の事業)

オートリースは、所有から利用への消費者意識の変化を背景に市場の拡大が継続するなか、推進体制の強化やニーズに即した運用の見直しなどの取り組みにより、保有台数が堅調に拡大し、取扱高及び営業収益が増加しました。

一方、国内子会社の債権回収会社において一部債権の取扱いを縮小しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が減少しました。

以上の結果、国内事業におけるセグメント取扱高は1兆4,470億70百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント営業収益は440億80百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は60億53百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

「海外事業」

(クレジット事業)

ベトナムでは、政府による電気自動車の普及推進に伴う需要の拡大や二輪市場の活況を背景に取扱いが堅調に推移し、取扱高及び営業収益が増加しました。

インドネシアでは、事業構造改革の一環として、未収債権が高止まりにある四輪や中古二輪の取扱いを停止していることにより、取扱高及び営業収益が減少しました。

カンボジアでは、国内経済の低迷及び審査の厳格化の継続により、取扱高が減少しました。営業収益は、債権残高の積み上げにより増加しました。

フィリピンでは、審査の厳格化を通じて優良債権の獲得に注力したことに加え、地方エリアの攻略が奏功し、取扱高及び営業収益が増加しました。

この結果、当事業の取扱高は増加しましたが、営業収益が減少しました。

(ペイメント事業)

ベトナムで展開するクレジットカードは、事業構造改革の一環で新規受付の中止及び既存会員の利用を停止しております。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が減少しました。

(その他の事業)

ベトナムやカンボジアで展開する個人向け無担保ローンは、ベトナムでは既存顧客を中心としたテレセールスや営業活動の強化が奏功したことで、取扱高及び営業収益が増加しました。カンボジアでは、既存優良顧客を中心に推進したことにより取扱高が増加しました。営業収益は、営業債権残高の縮小により減少しました。

インドネシアで展開するリースは、事業構造改革の一環で新規受付を中止した影響により、取扱高及び営業収益が減少しました。

この結果、当事業の取扱高は増加しましたが、営業収益が減少しました。

以上の結果、海外事業におけるセグメント取扱高は168億58百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント営業収益は51億95百万円（前年同期比12.1%減）、セグメント損失は13百万円（前年同期は4億52百万円の損失）となりました。

連結セグメント別取扱高

セグメントの 名称	(内訳)	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		前年同期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	クレジット	342,118	23.7	339,197	23.5	△0.9
	ペイメント	756,603	52.4	768,611	53.1	1.6
	ファイナンス	237,280	16.4	244,974	16.9	3.2
	その他	107,481	7.5	94,287	6.5	△12.3
	国内計	1,443,484	100.0	1,447,070	100.0	0.2
海外	クレジット	15,672	94.3	15,804	93.7	0.8
	ペイメント	0	0.0	—	—	△100.0
	その他	952	5.7	1,054	6.3	10.6
	海外計	16,625	100.0	16,858	100.0	1.4
合計		1,460,109	—	1,463,929	—	0.3

連結セグメント別営業収益

セグメントの 名称	(内訳)	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		前年同期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	クレジット	16,732	40.1	18,213	41.3	8.9
	ペイメント	11,015	26.4	11,084	25.1	0.6
	ファイナンス	10,002	23.9	10,735	24.4	7.3
	その他	3,542	8.5	3,506	8.0	△1.0
	事業収益計	41,291	98.9	43,539	98.8	5.4
	金融収益	451	1.1	541	1.2	19.8
	国内計	41,743	100.0	44,080	100.0	5.6
海外	クレジット	4,815	81.5	4,210	81.0	△12.6
	ペイメント	40	0.7	14	0.3	△64.6
	その他	1,015	17.2	936	18.0	△7.8
	事業収益計	5,871	99.4	5,160	99.3	△12.1
	金融収益	37	0.6	34	0.7	△7.3
	海外計	5,908	100.0	5,195	100.0	△12.1
国内・海外事業収益計		47,162	99.0	48,699	98.8	3.3
国内・海外金融収益計		488	1.0	575	1.2	17.8
合計		47,651	100.0	49,275	100.0	3.4

(注) セグメント間の内部営業収益又は振替高は記載しておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ319億89百万円増加し、3兆7,844億9百万円となりました。

これは、現金及び預金は減少したものの、未収入金が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ290億10百万円増加し、3兆4,790億54百万円となりました。

これは、支払手形及び買掛金は減少したものの、短期借入金等有利子負債、割賦利益繰延が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ29億78百万円増加し、3,053億55百万円となりました。

これは、その他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月15日付「2026年3月期決算短信」において公表しました2027年3月期第2四半期（累計）及び2027年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	144,845	114,030
割賦売掛金	3,278,004	3,263,175
リース投資資産	107,095	107,230
前払費用	7,141	8,341
立替金	56,832	50,005
未収入金	34,553	103,503
その他	40,091	40,639
貸倒引当金	△31,522	△32,215
流動資産合計	3,637,041	3,654,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,157	10,328
減価償却累計額	△7,232	△7,337
建物及び構築物（純額）	2,924	2,990
土地	14,828	14,828
その他	13,803	14,560
減価償却累計額	△8,425	△8,732
その他（純額）	5,378	5,827
有形固定資産合計	23,132	23,646
無形固定資産		
ソフトウェア	25,683	26,551
その他	17	17
無形固定資産合計	25,701	26,568
投資その他の資産		
投資有価証券	40,804	47,110
固定化営業債権	374	302
長期前払費用	4,641	4,788
繰延税金資産	1,547	1,440
差入保証金	1,338	1,338
退職給付に係る資産	14,106	14,237
その他	3,857	10,384
貸倒引当金	△125	△120
投資その他の資産合計	66,544	79,481
固定資産合計	115,378	129,697
資産合計	3,752,420	3,784,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	197,380	180,801
短期借入金	337,990	449,238
1年内償還予定の社債	42,144	12,163
1年内返済予定の長期借入金	250,202	204,938
1年内返済予定の債権流動化借入金	307,275	286,590
コマーシャル・ペーパー	372,800	413,800
未払金	3,605	3,638
未払費用	4,303	4,632
未払法人税等	4,545	1,839
預り金	79,821	80,763
前受収益	1,474	1,382
賞与引当金	3,144	1,564
ポイント引当金	2,732	2,732
債務保証損失引当金	1,209	1,236
割賦利益繰延	249,594	255,592
その他	23,178	25,061
流動負債合計	1,881,402	1,925,977
固定負債		
社債	146,259	146,288
長期借入金	775,409	820,005
債権流動化借入金	640,001	578,028
繰延税金負債	3,856	5,739
利息返還損失引当金	483	442
退職給付に係る負債	63	40
長期預り保証金	1,524	1,540
その他	1,043	990
固定負債合計	1,568,641	1,553,076
負債合計	3,450,043	3,479,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,680	35,680
資本剰余金	50,201	50,200
利益剰余金	182,759	182,445
自己株式	△648	△646
株主資本合計	267,993	267,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,225	25,502
繰延ヘッジ損益	△1	34
為替換算調整勘定	3,577	3,804
退職給付に係る調整累計額	2,854	2,685
その他の包括利益累計額合計	28,656	32,027
新株予約権	93	91
非支配株主持分	5,633	5,556
純資産合計	302,376	305,355
負債純資産合計	3,752,420	3,784,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業収益		
事業収益	47,162	48,699
金融収益		
受取利息	36	42
受取配当金	429	500
その他の金融収益	77	39
金融収益合計	543	582
営業収益合計	47,706	49,281
営業費用		
販売費及び一般管理費	33,994	33,974
金融費用		
借入金利息	6,222	7,613
コマーシャル・ペーパー利息	617	1,079
その他の金融費用	576	578
金融費用合計	7,417	9,271
営業費用合計	41,412	43,246
営業利益	6,294	6,035
営業外収益		
持分法による投資利益	—	13
雑収入	14	23
営業外収益合計	14	37
営業外費用		
雑損失	2	6
営業外費用合計	2	6
経常利益	6,306	6,066
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	1	2
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	1	2
税金等調整前四半期純利益	6,304	6,064
法人税、住民税及び事業税	1,371	1,437
法人税等調整額	679	540
法人税等合計	2,051	1,977
四半期純利益	4,253	4,086
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△162	△76
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,415	4,163

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	4,253	4,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172	3,276
繰延ヘッジ損益	△120	71
為替換算調整勘定	△1,475	144
退職給付に係る調整額	△222	△166
持分法適用会社に対する持分相当額	—	107
その他の包括利益合計	△1,645	3,434
四半期包括利益	2,608	7,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,199	7,535
非支配株主に係る四半期包括利益	△591	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	2,707百万円	2,941百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1、2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内	海外			
営業収益					
外部顧客への営業収益	41,743	5,908	47,651	—	47,651
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	178	—	178	△123	54
計	41,922	5,908	47,830	△123	47,706
セグメント利益又は損失(△)					
営業利益又は営業損失(△)	6,797	△452	6,344	△50	6,294
持分法による投資損益	—	—	—	—	—
計	6,797	△452	6,344	△50	6,294

(注) 1. 営業収益の調整額△123百万円は、親子会社間の会計処理統一による調整額等54百万円、セグメント間取引消去等△178百万円であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△50百万円は、親子会社間の会計処理統一による調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1、2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内	海外			
営業収益					
外部顧客への営業収益	44,080	5,195	49,275	—	49,275
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	197	—	197	△191	6
計	44,278	5,195	49,473	△191	49,281
セグメント利益又は損失(△)					
営業利益又は営業損失(△)	6,053	△27	6,025	9	6,035
持分法による投資損益	—	13	13	—	13
計	6,053	△13	6,039	9	6,049

(注) 1. 営業収益の調整額△191百万円は、親子会社間の会計処理統一による調整額等6百万円、セグメント間取引消去等△197百万円であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額9百万円は、親子会社間の会計処理統一による調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益に持分法による投資損益を加減した金額と調整を行っております。